

こんばちは三原じゅん子です

NO. 24 2012年 4月 27日

日本共産党 名張市議会議員

三原じゅん子

すずらん台西4-202

電話 0595-68-3552

生活相談は
お気軽に！

いかがお過ごしでしょうか。
大きなランドセルで上級生
と登校する小学生、少し大き
めの制服姿の中学生、初々し
く希望にあふれている姿に元
気をもらいます。

さて、野田内閣は消費税を
10%に上げることを閣議決定
しました。同時に年金の削減
や医療費の負担増など、社会
保障の改悪をすすめようと
しています。すでに4月から
年金の減額、介護保険料と後
期高齢者医療保険料が値上
がりし、子どもの手当ても減額
になりました。このままでは
生活が成り立たず将来への
不安が増すばかりとの声が
寄せられています。

税は応能負担を原則に、消
費税の増税ではなく家計を
温め、安心して暮らせる福祉
政策と、安定した雇用で経済
を活性化することが必要で
はないでしょうか？暮らし
を守り、若者が希望の持てる
社会をつくるために頑張り
ます。



新年度がスター
トしました。皆さん

いかがお過ごしでしょうか。
大きなランドセルで上級生
と登校する小学生、少し大き
めの制服姿の中学生、初々し
く希望にあふれている姿に元
気をもらいます。

3月議会報告



保育士の雇用は正規職員で！

●今年度予算は総額260億円で過去最高。前年度比13億1500万円増で5億2千万円の赤字予算。

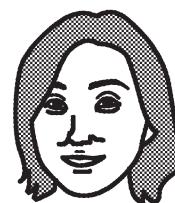
●主なものは、

土地開発公社清算事業	12億3700万円（第3セクター債で起債・10年償還H25年から）
区画整理事業	5億8100万円（現金返済H25年まで3年間）
市立病院の健全化	10億円（例年と同額程度）
子ども発達支援センター	1億2950万円（国の補助事業）
総合教育センター整備事業	1億8490万円（国の補助事業）



市の行財政改革（90億円の削減）を実行し、
土地開発公社・区画整理事業の精算し、H25年
度単年度黒字化することで、改革達成となる。

さらに「新しい公」で自助・共助・公助をすすめる。



◆「新しい公」とは

国の「税と社会保
障の一體改革」成案

では、社会保障につ

いて「自助」「共助」「公助」が表記さ
れています。社会保障を憲法に基
づく「すべての人が人間らしく生
きる権利を公的に保障する制度」

ととらえるのではなく「自己の努
力と相互の助け合い」を基本とし
「国や自治体は自己の努力では生
活ができない人のみ支援する制
度」へと変革するものです。この精
神のもと、行政責任を地域住民や
団体に転嫁し、管理・運営をさせ
るのが名張市のすすめている「新
しい公」です。

自己責任ばかりが求められ、助
けを求める声さえとどかず、児童
虐待や介護を苦にしての心中、孤
独死、孤立死が社会問題になっ
ています。市内でも各地域で高齢化
が進み、老々介護や高齢者の一人
暮らし空き家などが増え、地域で
の支えあいのも限界があります。

安心して子育てできるまち
歳をとっても安心して
住み続けられるまち

・子ども医療費無料化の窓口負
担解消。

・小児救急の体制強化。

・若者が定着する魅力あるまち

・自然エネルギー事業の推進と
地産地消をすすめる農業政策。

・地場産業の推進。

◆希望ある名張市にするために

2012年（平成24年）度、市立

病院や土地開発公社の健全化と、
土地区画整理事業の借入金返済の
ため、赤字予算編成となりました。

でまちの活性
化図り、市内の
経済が循環す
る活力ある名
張市を。



2013年（平成25年）度から单
年度黒字が見込まれ、「改革達成

から名張躍進」と市はいいます
が、来年度から財政が単年度黒
字になったとしても、これまで
の行革は引き続き進められ「改
革達成・躍進」は市民が実感で
きるものではありません。

◆暮らしを守る福祉政策と 地場産業の推進による まちの活性化を

2013年（平成25年）度から单
年度黒字が見込まれ、「改革達成

から名張躍進」と市はいいます
が、来年度から財政が単年度黒
字になったとしても、これまで
の行革は引き続き進められ「改
革達成・躍進」は市民が実感で
きるものではありません。



介護保険の保険料が値上がり

必要な介護が安心して受けられる制度への改正を！

- 介護保険が実施され12年が経過。3年ごとの保険料の見直しがあり、値上がりが続いている。2012年度基準額で1000円の値上がり。県の平均は5313円。

●これまでの保険料の推移	H12～14	2769円
	15～17	3434円
	18～20	4525円
	21～23	4202円
	24～26	5300円

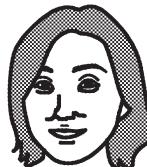
- 滞納状況 3333件、約500人が未納により介護保険が使えない。

- 特別養護老人ホームの入所待機者は昨年10月現在594人。

- 介護施設に入所しても、3ヶ月で退所をせまられる。



高齢者が安心して介護が受けられるように努める。



「保険料ばかりとられ、安心の介護が受けられない」の声がひろがっている。介護保険が実施され12年もたつのに、安心して利用できるものになっていない。國の方針は医療から介護へ、施設から在宅へと進めているが、在宅で介護をする環境は整っていない。必要な介護が安心して受けられる制度への改正を求める。

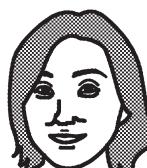


中学校給食の早期実現を！

- 全国でも80%が実施。
- 伊賀市や津市も実施されている。



中学校給食の必要性は認識しているが財政が厳しいため、学校の耐震化を優先し引き続き検討する。



「子育てしやすいまち」をめざすというが、名張市は未だに中学校給食が実施されていない。子育て世代の切実な要求である中学校給食の実施を求める。また学校給食で地産地消をすすめ、名張市の農業の推進と市内経済が循環する好循環もつくりだせる。



子どもの医療費窓口負担の解消を

お金の心配をせずに子どもが安心して医療が受けられるように、窓口無料化を求める。

- H24年度9月から子ども医療費無料化が、小学校卒業まで拡大されるが、診察を受けて一旦窓口で支払い、後からお金が返ってくる。これでは、無料化といっても手元にお金がないと病院にいけない。

- 東海3県で三重県だけが窓口負担がある。



三重県福祉医療検討会でこれまで検討をしてきた。引き続き協議をする。



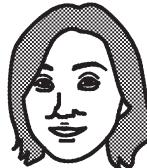
木造住宅耐震診断事業

名張市でもリフォーム助成の実施を！

- 木造住宅耐震診断事業は国・県の補助事業だが、診断はしても改修費用の負担が大きいため、なかなか利用がすすまない。
- リフォーム助成は全国各地で実施がすすみ、経済効果は助成金額の20倍にも及ぶといわれている。



今年度、助成対象額を増やし、条件も一部緩和した。県のリフォーム助成との併用も可能である。市民に周知し活用してもらい住宅改善をすすめる。



名張市でリフォーム助成を実施し、耐震事業と組み合わせ可能とすることで、住民の負担を軽減し事業の促進がはかれるのではないか？

住民の住宅環境改善とあわせ、市内経済の活性化のためにも実施を求める。